

平成28年度 玉川どんぐり保育園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1. 園の保育（教育）目標

明るくあいさつ にこにこ笑顔のおひさまっ子
 たくさん遊んで まっかなおひさまっ子
 話の聞く力の高い 心豊かな かしいおひさまっ子
 友だちの中で育つ やさしく たのしいおひさまっ子

2. 本年度の重点目標

園庭で思い切り遊び、健康なからだづくり
 絵本の時間を大切に、話しが聞け、自己表現できる子を育む
 自然体験活動を通して、心豊かな子を育む

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

24/24

項目	自己評価内容	評価
教育課程 ・指導	・園は目指している保育（教育）目標、本年度の重点目標を周知している。	A13 B11
	・保育（教育）課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A9 B15
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A19 B5
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A10 B9 C5
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A20 B4
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A15 B7 C1
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A22 B2
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A12 B9 C1
教育目標・ 園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A14 B10
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A23 B1
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A15 B8
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A19 B5
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A20 B4
保護者・地域 住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A21 B3
	・地域のボランティア団体活動との交流や、施設訪問などを実施している。	A19 B5
子育て支援・ 預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A9 B11C2
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A19 B5
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A16 B6 C2

4. 学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・地域の方や保護者の方の意見の中から信頼され愛されている保育園だと感じていただいていることがありがたかった。この思いを保護者の方が未就園児親子に伝えていただいて「評判が良かったから選んだ」という今年度入所児の保護者の声につながったと思う。信頼され、魅力的な保育園として続いていくようにと、建設的なご意見が多かった。

開園以後大事にしてきたことを継承しなくては行けないが、(特に笑顔と、一人一人に関わることの大事さを感じた)職員の自己反省は大事で、子どものどのような姿を望むのかを共通理解しておくことが前提にあると再認識した。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

開園11年目となる今年は御柱年でもあり、地域とのつながりが多かったです。何ヶ月も続いた御柱で祭りの象徴だったものを区長様より園に寄贈していただきありがたかったです。また、新しい取り組みも始まり、日々の保育の充実とあわせて、先生方は気持ちをそろえて、明るく笑顔で元気よく取り組んでできました。そのことが、認められていることにもありがたいと思います。地域的な立地条件の良さや、卒園した子どもたちや保護者の方の本園に対する愛着心の輪が広がって、現在の好感度を支えているとも感じます。経験が浅く、力量不足の面はありますが、職員皆で協力し合って誠実に今後も取り組んでいきます。

さらに、地域の皆様から寄せられた声や保護者アンケートから得られたご意見や要望をもとに、園運営の改善を図っていきたくと思っています。特に、様々な特性を持った子どもたちへの対応の仕方を学んだり、「子育て支援のニーズ」に対応する必要があるのではという保護者・職員から共に出た意見があったりするので、保育士のプロとしてキャリアを高める研修を重ねていくことや、地域の方と協力し合って子育ての悩みに対して支援をすることもできるようにしていきたいです。